

病院情報の公表に係る『病院指標』の定義について

1. 年齢階級別退院患者数

- ◆ 当院のDPC対象患者さんの年齢階級別（10歳刻み）の退院患者数を示したものです。

2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）

- ◆ 各診療科別に症例数の多い上位3DPC14桁分類入院について、DPCコード、DPC名称、患者数、平均在院日数、全国の平均在院日数、転院率、平均年齢、患者用パス（作成済のもの）を示したものです。
- ◆ 一般病棟の中における転科においては、主たる診療科（医療資源を最も投入した傷病の診療科）で集計しています。

3. 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

- ◆ 5大癌について、集計期間に退院した患者さんを対象として、延患者数を集計しています。期間内に入退院を繰り返すなどを行った場合は、退院を繰り返した回数分を乗じています。
- ◆ 「初発」とは、当院において、診断、診断と初回治療、あるいは初回治療を実施した場合です。
- ◆ 「再発」とは、初回治療が完了したあと、当院において診療した場合や、再発・再燃または新たな遠隔転移をきたした場合です。

4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等

- ◆ 入院契機病名および最も医療資源を投入した傷病名が肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎であって、さらにその中でもICD-10コードがJ13～J18で始まるものに限定し、市中肺炎（※1）の患者さんが対象となります。
- ◆ 使用する指標
 1. .男性70歳以上,女性75歳以上
 2. BUN 21mg/dLまたは脱水あり
 3. SpO2 90%以下 (PaO260Torr 以下)
 4. .意識障害
 5. .血圧（収縮期）90mmHg 以下

（※1）市中肺炎とは

通常の社会生活を送っている中で発症した肺炎です。通常はインフルエンザ等のウイルスによるものも含まれますが、本指標では除外します。

5. 脳梗塞のICD10別患者数等

- ◆ 医療資源を最も投入した傷病名が脳の虚血性疾患の患者さんを対象として、その発症から入院までの日数別に患者数、平均在院日数、平均年齢、転院率を示したものです。

6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位3位まで）

- ◆ 各診療科別に手術件数の多い上位3術式について、Kコード、名称、患者数、平均術前日数、平均術後日数、転院率、平均年齢、患者パス（作成済のもの）を示したものです。
- ◆ 手術術式の点数コード(Kコード)による集計ですが、輸血関連(K920)は除外しています。
- ◆ 術前日数は入院日から手術日まで（手術日当日は含まない）の日数、術後日数は手術日（手術日当日は含まない）から最終的な退院日までとしています。

7. その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

- ◆ 医療の質の改善に資するため、臨床上ゼロにはなりえないものの少しでも改善すべきものとして、重篤な疾患である、播種性血管内凝固症候群（DIC）（※2）、敗血症（※3）、その他の真菌感染症、手術・処置等の合併症について、入院契機病名（DPC6桁レベル）の同一性の有無を区別して症例数と発生率を示したものです。

（※2）DIC（播種性血管内凝固）とは

様々な基礎疾患に合併して凝固系が亢進し、全身の最小血管内に微小血栓が多発して臓器障害が起こる病態。これに伴って凝固因子、血小板が大量に消費されて減少し、また線溶系も亢進するため出血症状をきたす。原因となる基礎疾患には悪性腫瘍、敗血症が多い。

（※3）敗血症とは

細菌感染によって引き起こされる全身性炎症反応（SIRS）。